

こんにちは、ミyakミyak! とともに盛り上げよう、大阪・関西万博

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開幕まで1000日を切り、開催準備は一層の加速を見せている。正式参加国も目標とする150カ国に近づき、会場整備も着々と進んでいる。7月に公表された公式キャラクターの愛称「ミyakミyak」も大きな話題となるなど、大阪・関西万博に対する全国的な認知も高まってきた。今号では、直近の準備状況を紹介する。

開幕1000日前を迎えて—1000 Days to Go!

大阪・関西万博の開幕まで1000日となった7月18日、2025年日本国際博覧会協会(以下、博覧会協会)は、万博をPRするイベントを大阪と東京で実施した。

大阪では、当会の松本正義会長のほか、若宮健嗣国際博覧会担当大臣(当時)、吉村洋文 大阪府知事、松井一郎 大阪市長、石毛博行 博覧会協会事務総長らが会場となったユニバーサル・スタジオ・ジャパンに集結。開幕までの残り日数を示す「カウントダウンクロック」の除幕や、公式キャラクターデザインの愛称発表を行った。愛称の公募には33,197作品の応募があり、その中から、人間のDNA、知恵と技術、歴史や文化をこれからも「脈々」と引き継いでほしいという希望を込め、さらに万博のテーマである「いのち」そのものである「脈」にもつながる「ミyakミyak」が選ばれた。発表を受け、さっそくマスコミやSNSでも大きく取り上げられた。

会場には大阪・関西万博のアンバサダーを務めるボーカルユニット、コブクロも登場。1970年の大阪万博へのリスペクトとオマージュを込めて制作した



大阪会場の様子
Minions and all related elements and indicia TM & © 2022 Universal Studios. All rights reserved. TM & © Universal Studios. All rights reserved.

東京会場の様子
提供：2025年日本国際博覧会協会

オフィシャルテーマソング『この地球の続きを』を初めて披露した。

東京の会場となった東京スカイツリータウンには、岸田文雄 内閣総理大臣、十倉雅和 博覧会協会会長らが出席し、同じくキャラクターの愛称を発表したほか、東京スカイツリーが大阪・関西万博のイメージカラーに特別ライティングされた。岸田総理大臣からの挨拶は、大阪会場にも同時中継された。

また、博覧会協会では、開幕1000日前の契機にあたり「Join 2025 1000 Days to Go!」とのメッセージを発信。当会からも、会員企業に対し「#(ハッシュタグ)Join2025」を使った万博応援メッセージのSNS投稿を呼びかけた。そのほか、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加団体をはじめ、さまざまな主体が各所でイベント等を実施し、1000日前を盛り上げた。

着々と進む会場準備

■新パース図のお披露目

来年度から始まるパビリオン等の建設に向けた準備も進んでいる。開幕1000日前に先立つ7月13日には、万博のシンボルとなる大屋根(リング)の新しいパース図や、最新の会場配置図が公表された。大屋根は高さ12m、1周2kmで、世界最大級の木造建築物となる予定である。



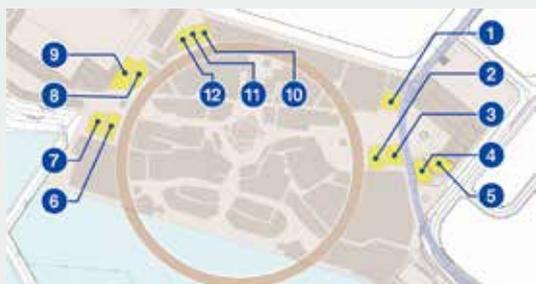
リング外観 提供：2025年日本国際博覧会協会

■個性豊かな民間パビリオン

5月30日には、民間パビリオンを出展する12の企業・団体が各館の構想概要を公表した。万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿って工夫を凝らし、個性が光るパビリオンを実現できるよう、それぞれ準備を加速させている。

民間パビリオン出展企業・団体とパビリオン名称

- ①日本電信電話
「NTT PAVILION 2025 NATURAL 生命とITの〈あいだ〉」
- ②電気事業連合会「電力館(仮称)」
- ③住友EXPO2025推進委員会「住友館」
- ④パナソニックホールディングス
「パナソニックパビリオン(仮称)」
- ⑤三菱大阪・関西万博総合委員会「三菱未来館」
- ⑥吉本興業ホールディングス
「(仮称)よしもとパビリオン」
- ⑦パソナグループ「PASONA Natureverse」
- ⑧特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン「BLUE OCEAN」
- ⑨バンダイナムコホールディングス
「ガンダムパビリオン(仮称)」
- ⑩玉山デジタルテック「初志・創新(仮称)」
- ⑪日本ガス協会「ガスパビリオン」
- ⑫飯田グループホールディングス
「飯田グループ×大阪公立大学 共同出展館」



会場配置図 提供：2025年日本国際博覧会協会

■社会課題をともに考えるための新たな取り組み

6月10日に公表された政府の「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.2」*では、万博会場に「女性活躍推進館(仮称)」を出展することが盛り込まれた。女性活躍や多様性の実現に向けた日本の取り組みを見せる場として、今後、官民共同で具体化が進められる。

さらに、「テーマWeekプロジェクト(仮称)」の実施も追記された。このプロジェクトは、ヘルスケアや循環型経済といった世界的な重要課題をテーマに、

それぞれ期間を設定し、世界の有識者やビジネスパーソン、文化人などによるメッセージの発信や交流、フォーラム等を開催するものである。ほかにも、会場外で開催される国際会議の誘致やそれらとの連携なども行われる予定となっており、こうした取り組みを通じ、さらに多くの企業・団体による万博への参画が期待される。

さらなる機運の盛り上げに向けて

キャラクターの愛称決定を受け、博覧会協会ではデジタルサイネージやポスターのリニューアルを行い、広く掲出を呼びかけている。まずは2023年度に予定されている入場券の前売り開始時期をターゲットに、博覧会協会を中心に政府・自治体・経済界が一体となり、戦略的・効果的なプロモーションを展開していく。さらに、10月下旬からは大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの交付も始まる。こうした機運醸成に資する取り組みに対し、会員企業の皆さまにもぜひご協力いただきたい。



マクマクが描かれたデジタルサイネージ

8月25日、当会は会員向けに「大阪・関西万博説明会～EXPO 2025 Updates Meeting～」を開催した。博覧会協会や国による準備状況の説明に対し、参加した約330名からは万博への参画にあたってのさまざまな質問が寄せられた。

今後も当会は会員企業への適時適切な情報発信に努め、万博の成功に向け機運を高めていく。

*「未来社会の実験場」の具体化に向け、各省からの予算要求や地元からの要望をふまえた現時点の取り組みや検討状況をまとめたもの。Ver.1は2021年12月に公表されている。

(産業部 小池弥生)

※当会では、大阪・関西万博に関する関係団体の動きをダイジェストでお届けするニュースレター「EXPO 2025 Updates」を発行しています。バックナンバーは当会ホームページで公開しています。

